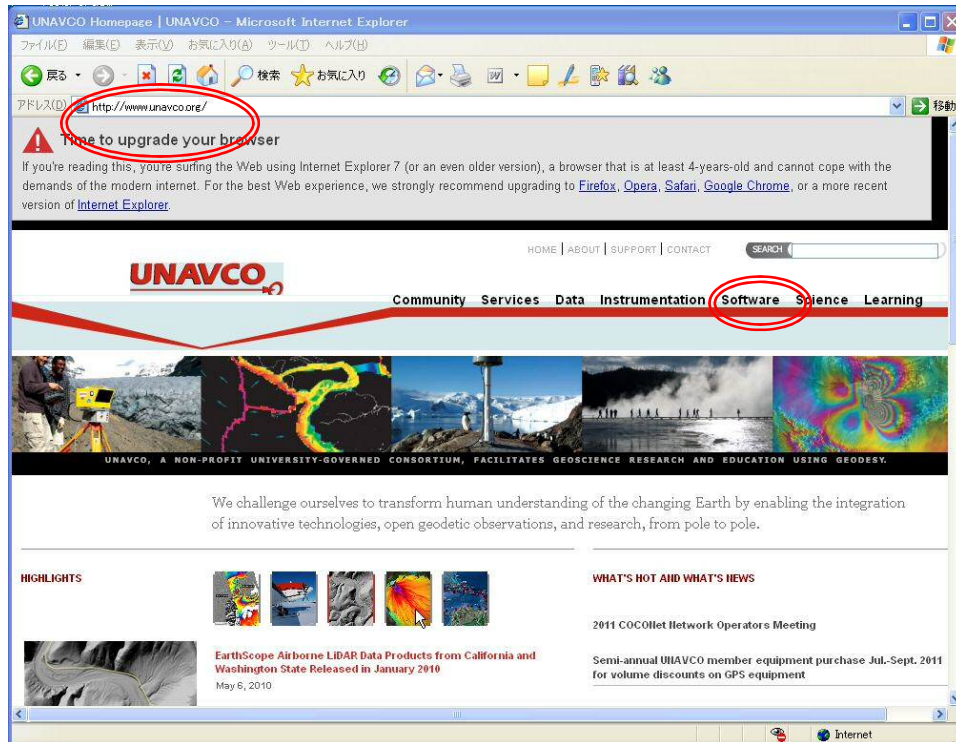


teqc/unavco による RINEX データの編集(分割)操作方法

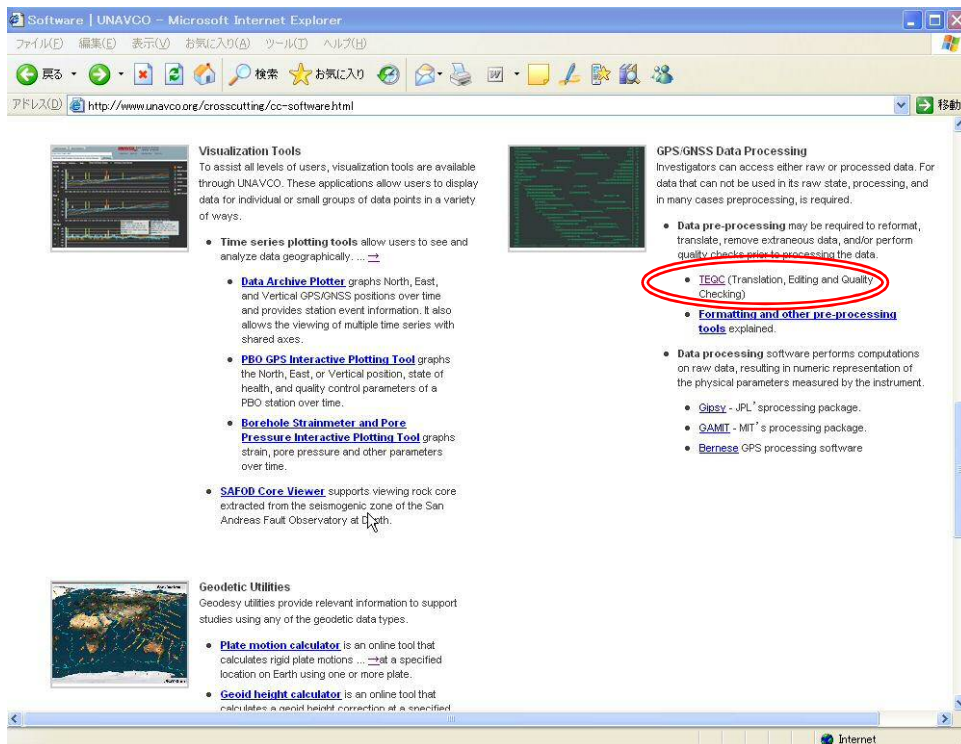
RINEX データの分割操作方法について手順を追って説明します。

1. teqcソフトウェアを米国 UNAVCO のホームページからダウンロードします。

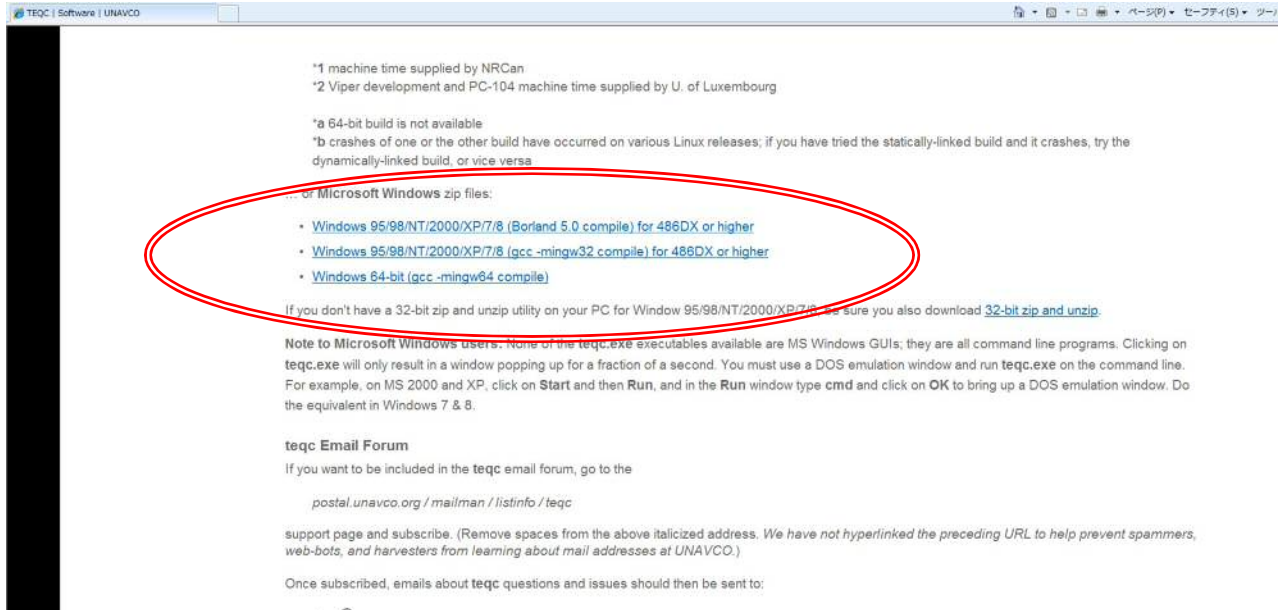
- ① URL: <http://www.unavco.org/> で UNAVCO ホームページにアクセスし Software を選択



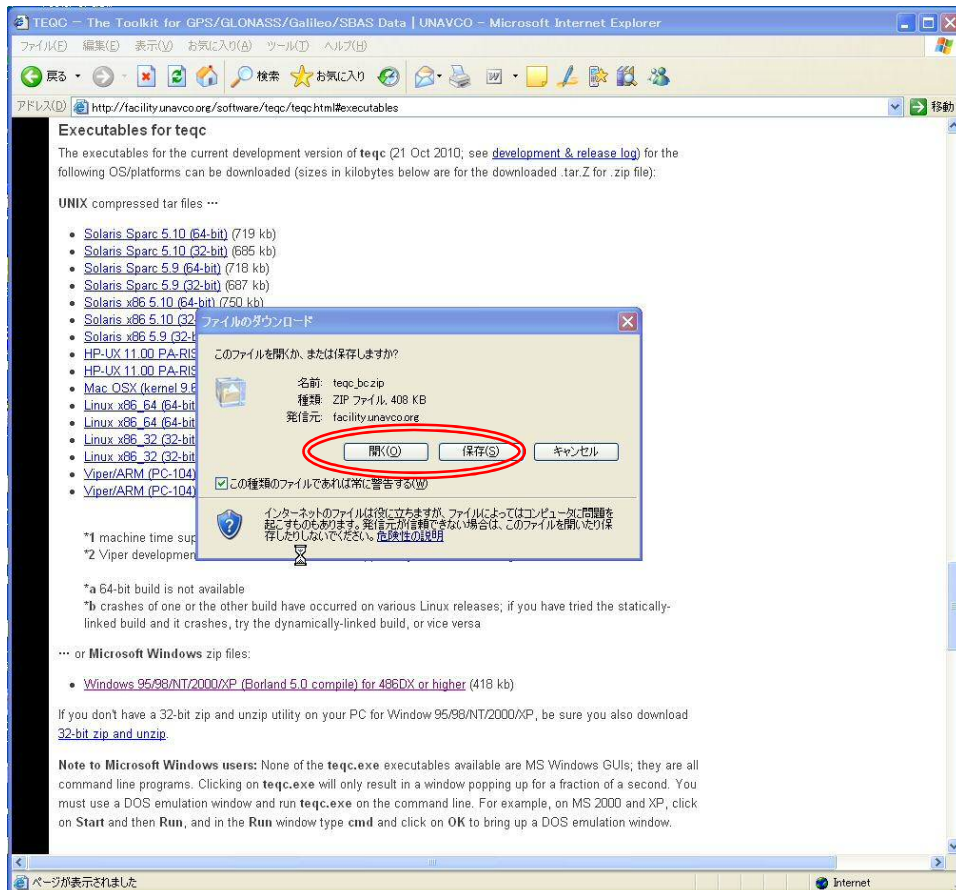
- ② Software のページ中段下右にある TEQC をクリック選択



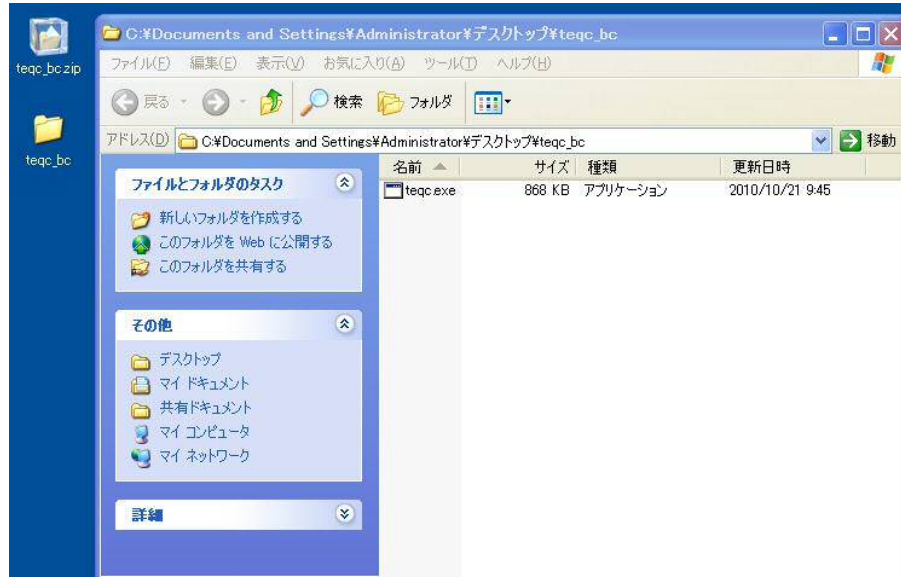
- ③ Executables for teqc の中から使用 OS にあったソフトウェア zip ファイルをダウンロード
(下図では Windows95/98/NT/2000/XP.....を選択しています)



- ④ 上記③の選択クリックで下図画面となるので、開くか保存を選択し `teqc.exe` をダウンロード



- ⑤ 下図の例では、上記選択クリック保存を選択しダウンロード、保存 teqc.exe の圧縮ファイルを解凍した状態を示しています

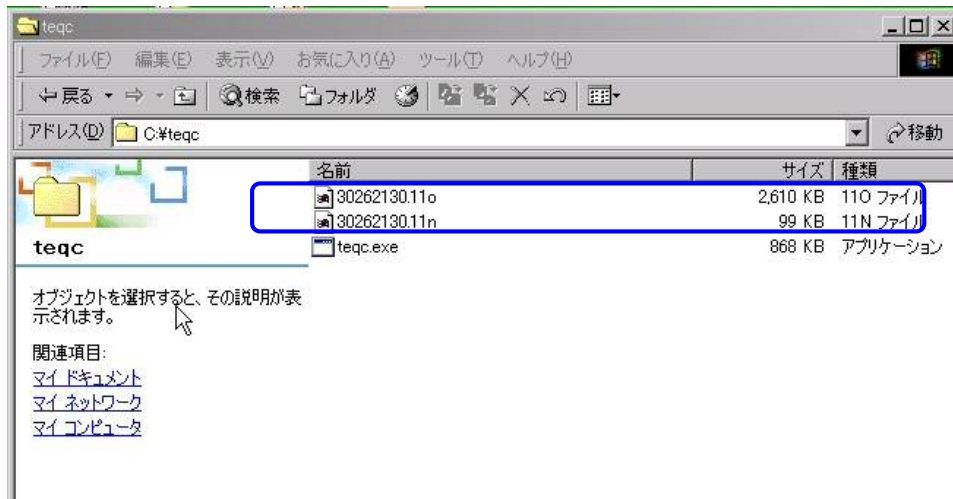


- ⑥ 上記解凍後のファイル・teqc.exe は後の操作で teqc ソフトの保管場所の指定や元データ/編集後データの保存先となるので、保管場所をローカルディスク[C]、ファイル名を teqc_bc から[teqc]に変更設定しておくとは分かり易いかと思います

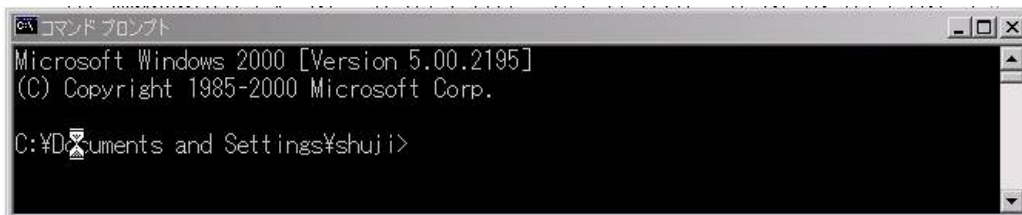
2. teqcによる RINEX データ(oファイル、nファイル)の分割操作手順

- ① 分割したい RINEX データを teqc 保管ファイル内におきます

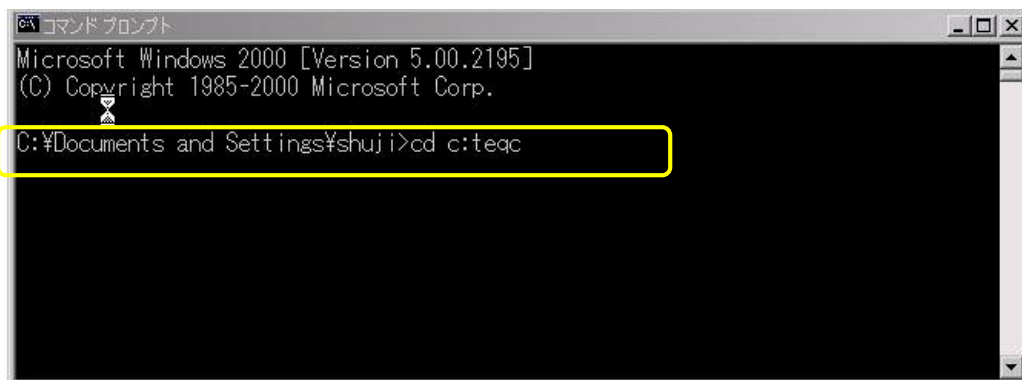
下記例では 2011/8/1 の国土地理院からダウンロードした 1 日(24 時間)のデータです



- ② Windows の[スタート] →[プログラム] →[アクセサリ] →[コマンドプロンプト] で DOS コマンドプロンプトを立ち上げます



- ③ 上記図 C:……> の後ろに下図のように cd c:¥teqc と入力し **Enter(リターン)**キー押下
 ※ □ は一文字空欄(スペース)を示しています
 (C:……の表記は使用されるPCでの設定、保管ファイル場所で異なります)



- ※ 分割する場合の分割単位設定に数種類ありますが、ここでは
 ④に開始時刻、時間(何時間分と云うように分割したい時間の幅)で行う場合
 ⑤に開始時刻、終了時刻で行う場合、を示します。
 ④ 分割する元のデータファイル、分割の RINEX データの観測開始(スタート)時刻(UTC表示)、
 開始から終了までの時間間隔、ファイル名を以下のように入力し **Enter(リターン)**キー押下

C: ¥teqc>teqc □ -st □hh:mm:ss □ +dh □hh □ ●●●●●●●●. ●●o > □ ●●●●●●△. ●●o

└──────────┘
└──┘
└──────────┘
└──────────┘
 開始時刻 時間 元データ名 分割後データ名

- ※ □ は一文字空欄(スペース)を示しています
 ※ 上記は観測データ(oファイル)ですが、暦データ(nファイル)も同一名で分割保存すること
 下図は UTC8 月 1 日 00:00:00~8 月 1 日 23:59:59 (JST8/1AM9:00:00~8/2AM8:59:59)
 の元データを UTC8 月 1 日 01:00:00~8 月 1 日 03:00:00 間の2時間データ
 (JST では 8/1 の AM10:00~AM12:00)に分割抽出する場合の例を示しています
 ※ アンテナ種・モデルに対し IGS 標準テーブルに適合するものがないとの警告は無視下さい


```

コマンドプロンプト
Microsoft Windows 2000 [Version 5.00.2195]
(C) Copyright 1985-2000 Microsoft Corp.

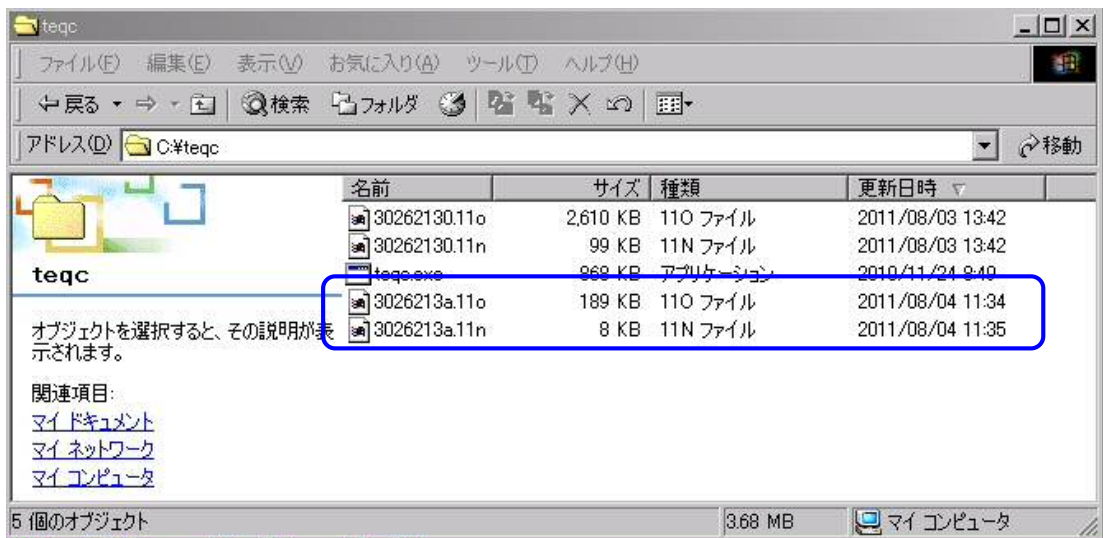
C:¥Documents and Settings¥shuji>cd c:¥teqc

C:¥teqc>teqc -st 01:00:00 +dh 2 30262130.11o > 3026213a.11o
! Notice ! antenna/dome designation 'TRM29659.00 GSI' does not match any in
the IGS standard table

C:¥teqc>teqc -st 01:00:00 +dh 2 30262130.11n > 3026213a.11n

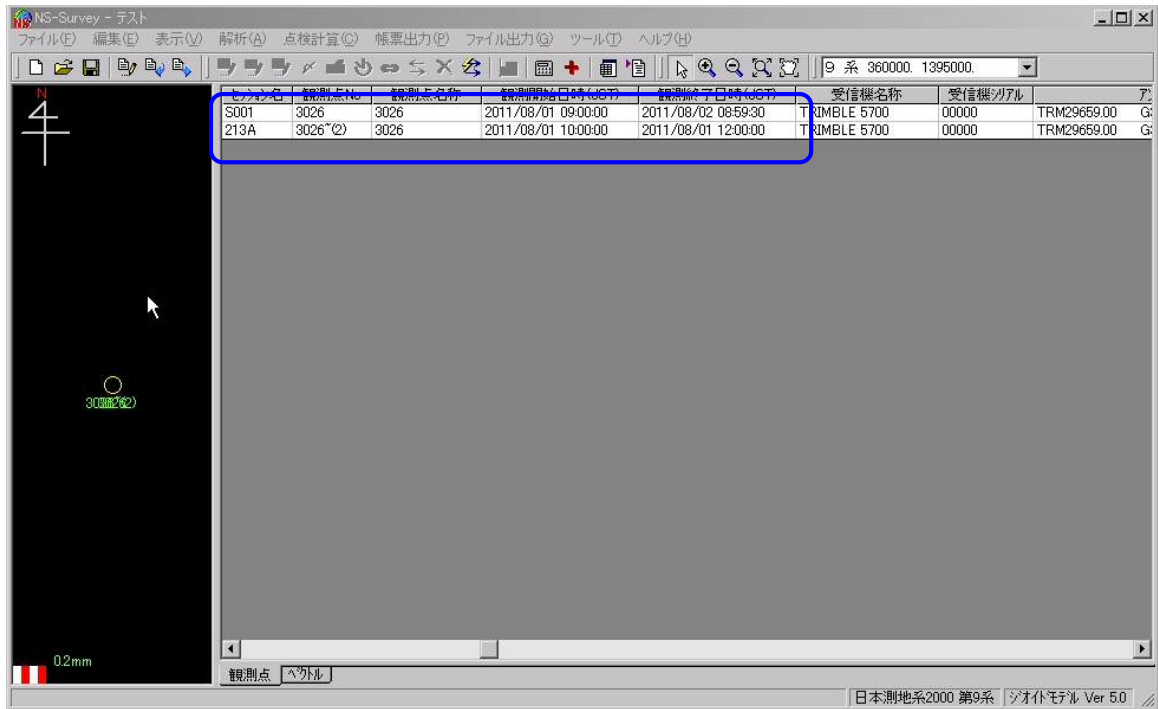
C:¥teqc>
  
```

※ コマンドプロンプトで上記図の操作を行うと下図のように分割作成されたデータが
teqcと同一ファイル内に設定入力したデータファイル名で保存されます



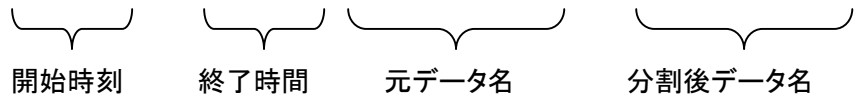
※ 上記操作で正常に分割されたかは下図のように分割前元データと、分割後データを
NS-Survey に同一点結合なしで取り込み、観測点のタブの表の観測開始日時と
観測終了日時にて判定、確認できます





- ⑤ 分割する元のデータファイル、分割の RINEX データの観測開始(スタート)時刻(UTC表示)、観測終了(エンド)時刻(UTC表示)、ファイル名を以下のように入力し Enter(リターン)キー押下

C: ¥teqc>teqc□-st□hh:mm:ss□-e□hh:mm:ss□●●●●●●●●.●●o>□●●●●●●△.●●o



- ※ □は一文字空欄(スペース)を示しています
- ※ 上記は観測データ(oファイル)ですが、暦データ(nファイル)も同一名で分割保存すること
下図は UTC8 月 1 日 00:00:00~8 月 1 日 23:59:59 (JST8/1AM9:00:00~8/2AM8:59:59)
の元データを UTC8 月 1 日 05:25:30~8 月 1 日 06:30:00 間の1時間 4 分 30 秒データ
(JST では 8/1 のPM 2:25:30~PM 3:30:00 間)を分割抽出する場合を示しています
- ※ アンテナ種・モデルに対し IGS 標準テーブルに適合するものがないとの警告は無視下さい

```

コマンドプロンプト
Microsoft Windows 2000 [Version 5.00.2195]
(C) Copyright 1985-2000 Microsoft Corp.

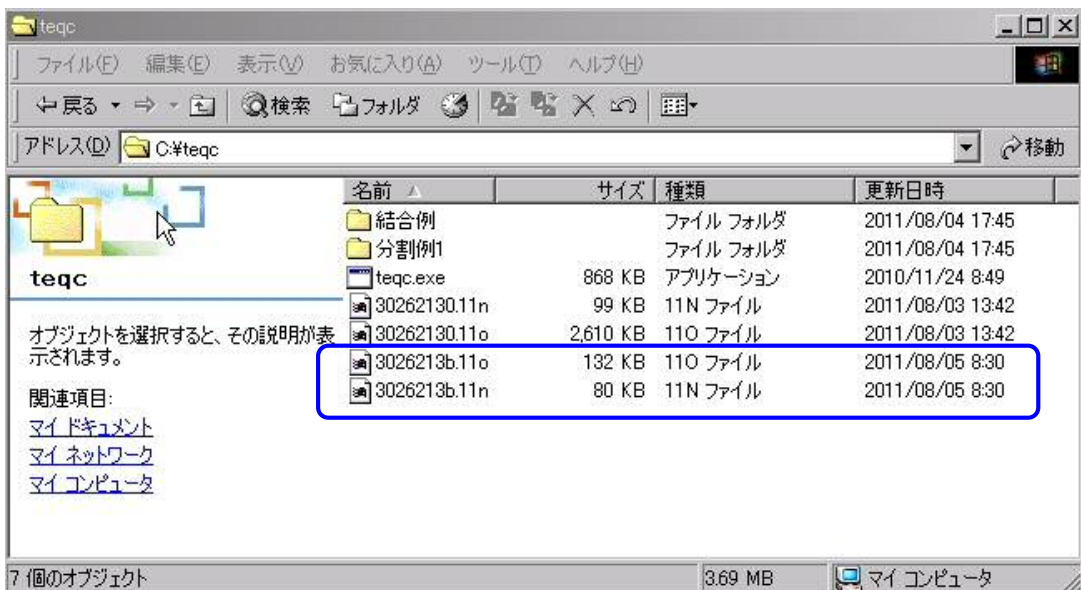
C:¥Documents and Settings¥shuji>cd ¥teqc

C:¥teqc>teqc -st 05:25:30 -e 06:30:00 30262130.11o > 3026213b.11o
Notice ! antenna/dome designation 'TRM29659.00 GSI' does not match any in
the IGS standard table

C:¥teqc>teqc -st 05:25:30 -e 06:30:00 30262130.11n > 3026213b.11n

C:¥teqc>
  
```

- ※ コマンドプロンプトで上記図の操作を行うと下図のように分割作成されたデータが
teqcと同一ファイル内に設定入力したデータファイル名で保存されます



- ※ 上記操作で正常に分割されたかかは下図のように分割前元データと、分割後データを

NS-Survey に同一点結合なしで取り込み、観測点のタブの表の観測開始日時と観測終了日時にて判定、確認できます

The screenshot shows the NS-Survey software interface. The main window displays a table of observation points. The table has the following columns: 有効 (Valid), 種類 (Type), モー (Mode), セッション名 (Session Name), 観測点No (Observation Point No.), 観測点名称 (Observation Point Name), 観測開始日時(JST) (Observation Start Time (JST)), 観測終了日時(JST) (Observation End Time (JST)), and 受信機名称 (Receiver Name). The start and end time columns are highlighted with a blue box.

有効	種類	モー	セッション名	観測点No	観測点名称	観測開始日時(JST)	観測終了日時(JST)	受信機名称
✓		採目	S001	3026	3026	2011/08/01 09:00:00	2011/08/02 08:59:30	TRIMBLE 5700
✓		採目	213B	3026②	3026	2011/08/01 14:25:30	2011/08/01 15:30:00	TRIMBLE 5700

The interface also includes a menu bar (ファイル(F), 編集(E), 表示(O), 解析(A), 点検計算(Q), 帳票出力(P), ファイル出力(G), ツール(T), ヘルプ(H)), a toolbar, a coordinate display (9系 360000, 1395000), a map view on the left with a scale of 0.2mm, and a status bar at the bottom (観測点, 日本測地系2000 第9系, ソフトウェア Ver 5.0).